

# 万博公園探鳥会

2023年5月13日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
有賀憲介・平軍二(090-6901-1425)

## 1. 千里の鳥・万博の鳥「アリスイ」

(写真 橋本昌宗)



今月の鳥は**アリスイ**、4月度万博公園定例探鳥会で日本庭園心字池上流側の木の根元にて、地上のアリを捕まえる行動、何回も首を上下に動かしている所を、全員で観察できた。

アリスイはキツツキ科で体長18cm、コゲラの15cmより幾分大きい小鳥である。通常キツツキといえば木の幹を縦に移動している姿を見るが、アリスイは木の幹を垂直に上ることはなく、普通の小鳥のように、横枝に止まっている。

アリスイの漢字名は「**蟻吸**」で、長い舌をアリの巣へ入れ、アリを吸いとるように捕食する。江戸時代(1712年)の百科事典「和漢三才図会」に「**蟻吸鳥**」と記載されているとのこと(★1)、300年前にアリスイの行動が知られていたことになる。

鳥の学名は「属名」と「種小名」の組み合わせで表示されるが、アリスイは *Jynx torquilla*、属名は「ジ

ンクス」、種小名は「首を捻(ねじ)るもの」を表している。アリスイは首をかしげるような動きをすること、またアリを吸うための長い舌と合わせ、**ヘビの擬態**とされている。更に属名のジンクス、キリスト教ではヘビは悪魔の化身とされることから、「**アリスイ→ヘビ→不吉**」になるとのことである。日本では「ジンクス」は吉兆・凶兆の両方に使われるが、欧米の「ジンクス」は凶兆とのことである(★2他)。

このアリスイは、ユーラシア大陸亜寒帯に繁殖地があり、冬は日本～東南アジア、インド・アフリカ中部などが越冬地となっている。大阪府内では冬鳥として、秋～春に記録され、おり、淀川河川敷などでほぼ毎年観察されている(★3)。

★文献1 「鳥の手帖」 浦本昌紀監修小学館 1990年

★ #2 「アリスイ」バードリサーチ News2015年

★ #3 「大阪府鳥類目録 2016」日本野鳥の会大阪支部

## 2. 4月探鳥会結果報告より

今月の特記事項は上述のアリスイ、春の渡り鳥調査では何回か確認しているものの、**38年間の万博公園探鳥会では初記録**となった。また冬鳥では久しぶりに通行禁止が解除された「水鳥の池」でオシドリ9羽確認、そして春の渡り鳥では毎年4月中旬～下旬に園内を通過している**ニューナイスズメ4羽**を確認した。アトリ・ツグミ・シロハラなどを確認したが、鳥は総じて少なく**32種**にとどまった。



オシドリ(橋本昌宗)



キンクロハジロ(橋本昌宗)



雄 アトリ (橋本昌宗)



## 3. 万博公園森づくりの計画 その3 今西純一先生



万博公園希少植物生育地見学会(20220706) 今西純一先生他森づくり関係者

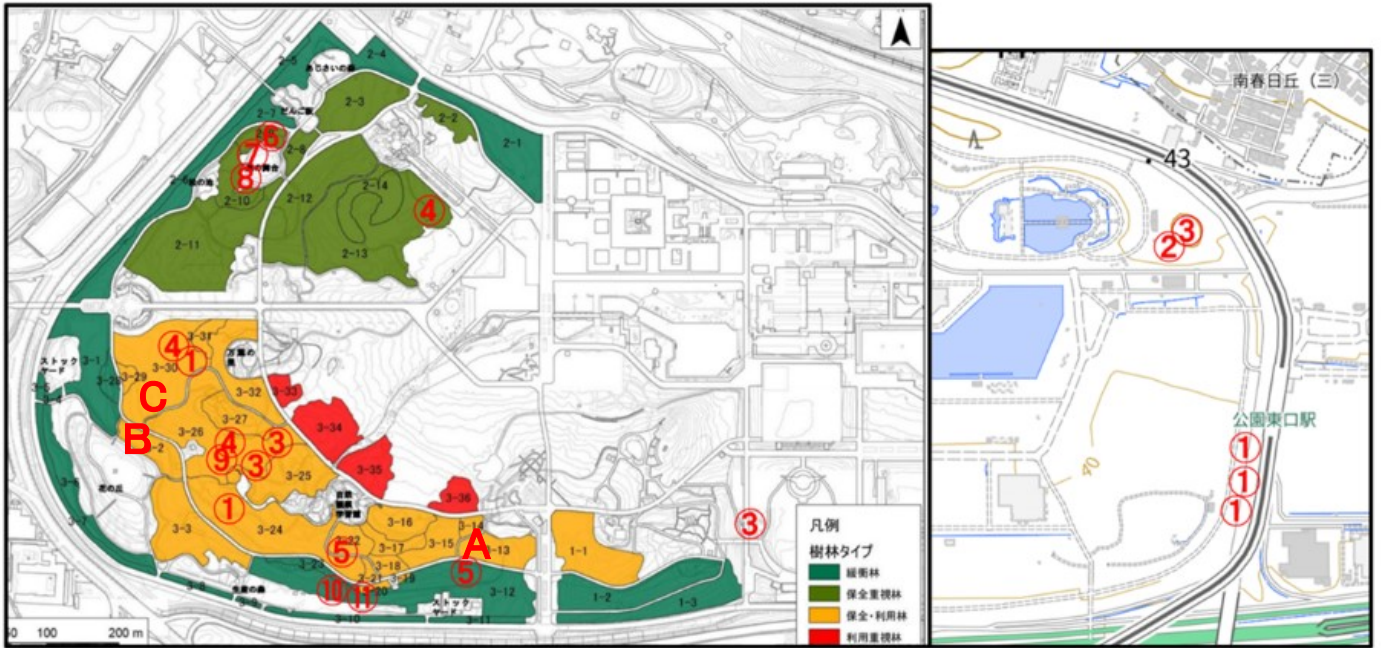
これまで、「万博の森づくりの基礎設計」の**吉村元男先生**、「人工ギャップによる第二世代の森づくり」を計画された**森本幸裕先生**を紹介した。

今回は現在、万博公園みどり整備部会で森づくりを担当されている、**今西純一先生**を紹介する。

万博公園管理主体者は、中央官庁の大蔵省→財務省であったが、2014年大阪府に移管された。森づくりは、大阪府日本万国博覧会記念運営審議会の中に「**緑整備部会**」が設置され、**大阪公立大学教授今西純一先生**などが中心に検討されている。上記写真は2022年7月、今西純一先生を中心とする森づくりの関係者に万博公園内にあるラン科植物など、希少植物の生育地を案内した時のものである。

森づくりの先生方は樹木のことにはよくご存じであるが、樹林内などにある**レッドリストすいた 2021 に記載した希少な野草**のある所をご存じないため、生育地を知ってもらうために開催した。

### 3-1 緑整備部会により検討中の樹林タイプと希少植物生息位置



### 3-2 希少植物①～⑪ (2022年時点)

種名	科名	生育場所	株数(概数)	環境省RL	大阪府RL2014	発見年月日	吹田市での確認(万博以外)
①クゲヌマラン	ラン科①	3-24,3-30 東の広場東側・野球場西側周辺	200株	絶滅危惧Ⅱ類	公式生育記録?	2016.4.29	無し
②キンラン	ラン科②	日本庭園東端	3株	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	-	無し
③ギンラン	ラン科③	3-25,3-25,3-太陽の塔前・日本庭園東端	25株	-	絶滅危惧Ⅱ類	-	有り
④コクラン	ラン科④	2-14,3-26,3-30	100株	-	-	2016.3.3	無し
⑤タシロラン	ラン科⑤	3-123-133-223-24	数百株	準絶滅危惧	公式生育記録?	2010.7.3/2012.7.9	有り(文献)
⑥オグルマ	キク科	2-9	50株	-	絶滅危惧Ⅱ類	2020.7.12	無し
⑦カワチシャ	オオハコ科	森の舞台低地	10株	準絶滅危惧	準絶滅危惧	2010年頃/2020.7.9	無し
⑧ミソコウシュ	シソ科①	森の舞台低地	50株	準絶滅危惧	準絶滅危惧	2010年頃/2020.7.9	無し
⑨ツルニガクサ	シソ科②	3-26	50株	-	-	2020.7.12	無し
⑩コタニワタリ	チャセンシダ科	3-12	1株	-	-	019.12頃/2020.8.2	無し
⑪クリハラン	ウラボシ科	3-12	1株	-	-	2020.8.29	無し

### 3-3 保全利用林のうち常緑樹林→落葉樹林に改変中の場所

- A** 3-13 森の足湯(中津道)から上津道へ抜ける遊歩道東側
- B** 3-2 水鳥の池南側(上津道)から花の丘への遊歩道東側
- C** 3-30 水鳥の池・遠見の丘間(上津道)からビオトープの池へ抜ける遊歩道北側

万博公園の森づくりで、**森本幸裕先生**による「人工ギャップによる第二世代の森づくり」では樹林の中に 15m 四方程度(約 225 m<sup>2</sup>)の伐採箇所を作り、樹林相の転換を図ったが、効果がなかった。今回、**今西純一先生**による森づくりでは、①伐採面積を5～10倍に広くとる、②樹林にあった落葉樹を残す、③新しく大阪近隣にある落葉樹(エドヒガンなど)を補植することによって**明るい林の育成**を図っている。今日はその現地を確認していただきます。 →



## 4. 万博公園探鳥会観察種 チェックリスト

種名	2022年										2023年				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
1 24 オシドリ												7	9		
2 26 オカヨシガモ	1														
3 27 ヨシガモ										1					
4 28 ヒドリガモ															
5 30 マガモ		3								1					
6 32 カルガモ	24	14	2	8	7	8	12	15	4	23	14	28	16		
7 35 オナガガモ															
8 38 コガモ										6					
9 42 ホシハジロ															
10 46 キンクロハジロ													2		
11 58 ミコアイサ															
12 62 カイツブリ	9	8	3	14	5	4	6	3	6	10	6	10	6		
13 74 キジバト	13	12	3	5	2	5	7	1	1	3	3	7	9		
14 78 アオバト	1	2								8	14	3			
15 127 カワウ	9	11	5	2	3	3	3	2	3	2	5	13	9		
16 139 ゴイサギ															
17 144 アオサギ	1	1	1	2	2	2	1	4	2	2	2	2	1		
18 146 ダイサギ	1														
19 148 コサギ		1					1			2	2	2			
20 174 パン				2	2				2				1		
21 175 オオパン	1											1			
22 187 ツツドリ															
23 192 アマツバメ															
24 195 ケリ															
25 202 イカルチドリ															
26 203 コチドリ															
27 219 タシギ										1					
28 244 イソシギ															
29 286 ユリカモメ															
30 339 ミサゴ															
31 340 ハチクマ								1							
32 342 トビ	2														
33 354 ツミ															
34 355 ハイタカ									2	3		2			
35 356 オオタカ											1				
36 357 サシバ						1									
37 358 ノスリ										1		1			
38 383 カワセミ		1	2	1	3	2	3	2	2	2	2	5	2		
39 388															
40 390 コゲラ	6	6	5	1	4	4	2	2	6	6	2	5	4		
41 401 チョウゲンボウ	1				1						1				
42 407 ハヤブサ															
43 412 サンショウクイ															
44 418 サンコウチョウ															
45 420 モズ								7	1	4	3	2	3		
46 435 ハシボソガラス	4	17	12	18	14	7	6	7	15	4	7	2	14		
47 436 ハシブトガラス	127	23	13	31	33	54	43	73	54	71	89	71	21		
48 442 ヤマガラ	6	6	5	4	11	13	11	6	12	7		3	2		
49 445 シジュウカラ	36	24	10	7	14	23	20	12	15	21	13	18	12		
50 457 ツバメ	10	15	8	7	4	1	7					1	12		
51 459 コシアカツバメ	3				1	3									

種名	2022年										2023年				
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
52 463 ヒヨドリ	27	8	6	12	9	11	43	27	42	60	31	30	4		
53 464 ウグイス	9	12	3	5			1	1	1	2	2	5	7		
54 465 ヤブサメ															
55 466 エナガ	4	10	6	4	7	2	27	10	6						
56 477 メボソムシクイ															
57 479 エソムシクイ															
58 480 センダイムシクイ															
59 485 メジロ	25	6	8	20	19	29	17	11	26	30	5	7	5		
60 492 オオヨシキリ															
61 501 ヒレンジャク															
62 506 ムクドリ	23	18	9	88	2		2	1				1	37		
63 508 コムクドリ															
64 514 トラツグミ															
65 521 シロハラ	22								1	20	15	22	13		
66 522 アカハラ	2														
67 525 ツグミ	26								6	134	49	62	29		
68 530 コマドリ															
69 536 ルリビタキ									1	1	3	1			
70 540 ジョウビタキ									3	6	3	5	3		
71 542 ノビタキ															
72 549 イソヒヨドリ						2	2					1			
73 552 エソビタキ										3					
74 554 コサメビタキ									4	8					
75 558 キビタキ		5	3				2	1							
76 561 オオルリ	1														
77 568 ニュウナイスズメ	2												4		
78 569 スズメ	31	49	33	102	33	48	42	22	71	39	60	30	13		
79 573 キセキレイ					1		4	1	4	2	1		1		
80 574 ハクセキレイ	4	4	1	3	34	28	6	10	14	12	9	21	13		
81 575 セグロセキレイ	2	2	3	3	3		1		2				2		
82 580 ピンズイ												3			
83 584 タヒバリ															
84 586 アトリ	12								43	48	65	40	11	44	
85 587 カワラヒワ	21	16	14	46	1	1		12	7	21	51	23	9		
86 600 シメ	3									1		3			
87 602 イカル	2		1		1		2		1		4		2		
88 610 ホオジロ															
89 617 カシラダカ															
90 624 アオジ	7								1	5	4	4		2	
91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
92 ソウシチョウ	2														
93 カッコウSP															
94 ムシクイSP						1	1	2							
95 タカSP															
96															
種類数(種)	37	27	24	22	28	26	30	28	34	32	31	31	32		
個体数(羽)	477	277	156	383	219	260	289	279	373	565	443	399	306		
天候	晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	
参加者数(人)	5	12	16	10	5	16	33	28	28	4	33	23	22		

次回 6月10日(土) 9:30 自然文化園中央口

日本野鳥の会 HP より fomuzs 方式でお申し込みお願いします。

(支部 HP の利用が難しい方は、平あてにメール ([g-hira@nifty.com](mailto:g-hira@nifty.com)) or 電話(090-6901-1425)で連絡下さい